

令和3年度第1回庄原市道徳教育推進委員会研修会

- 日時：令和3年7月6日（火） 14：00～16：35
- 場所：庄原市田園文化センター 2階多目的ホール
- 対象者：庄原市内各小・中学校の道徳教育推進教師22名

目的

- ・道徳教育推進教師としての役割を理解するとともに、校内における道徳教育推進及び充実を図るための研修方法について知る。
- ・道徳科における評価の在り方について理解を深める。
- ・人権意識を培うために、道徳科の観点からの授業の在り方を研修し、人権教育に関する指導方法等の理解を深める。

講話・演習 「人権教育の構造の理解と道徳科との関連」 「道徳教育推進教師の機能化について」 「道徳科における適切な評価について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 砂走 敏和



道徳科と人権感覚を関連させる活動の様子

【講話・演習の概要】

- 人権教育と道徳科及び道徳教育との関連について確認した。人権教育において、「知的理解にとどまり、人権感覚が十分身に付いていない。」など指導方法に問題があるとされており、教育活動全体で、「価値的・態度的側面」「技能的側面」の指導を充実することで、人権感覚を高めることの大切さを体験的に研修を行った。
また、組織として取り組むために、道徳教育推進教師の役割が重要となる。「道徳教育 研修ハンドブック」を参考に、校内研修の計画を確認した。
最後に、適切な評価について、文例をもとに演習を行った。評価するうえでのポイントについて、共通認識を図った。

【参加者から】

- ・ 適切な評価を行うために、指導と評価の一体化について組織としての意識統一を図りたい。
- ・ 効果的な校内研修について課題を感じていたが、本日の研修で用いたワークシートを使用すれば、一歩進むと感じた。

講話・演習 「カリキュラム・マネジメントによる道徳教育の充実」 「授業改善につながる校内研修の実例」

広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 藤本 哲平



【講話・演習の概要】

- カリキュラム・マネジメントによる道徳教育の充実を図るにあたり、「学校教育目標」「児童生徒や地域の実態」を踏まえたものとなっているか、教職員全体で共通認識を図る必要がある。
校内研修の実例演習では、寓話を用いた「発問づくり」を通して、内容項目を理解するとともに、教師が明確な意図をもって指導することの大切さを学んだ。

【参加者から】

- ・ ミニ演習の中で、寓話を使って「どの場面で何を考えさせたいか。」という中心発問を協議することで、授業で取り扱う内容項目や授業者が指導したいことを明確にすることの大切さを校内で共有する。
- ・ 改めて、学校の目標、目指す子供の姿、資質・能力について確認する必要があると感じた。